

# スィフト(HT)-AT 学習制御について 1

■適応車種:スィフト(HT51S/HT81S)

■適応年式:平成 12 年 1 月～

上記車種の AT コンピュータには、車にあった最適な変速条件を設定する為、学習制御が採用されています。

**トランスミッション Assy 交換時**には AT コンピュータの学習内容を消去する必要があります。

以下に、学習値クリア要領を記載しますので、参考にしてください。

尚、上記車種は故障診断機による学習値クリア機能が搭載されていない為、故障診断機による学習値クリアは実行できません。

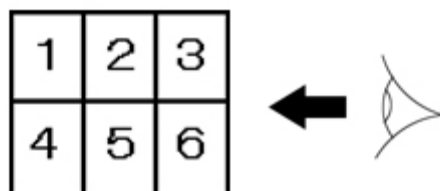
## AT 学習値クリア要領

1. IG SW を ON(エンジン停止)にして下さい。

2. ダイアグカプラの2番端子と4番端子間を接続して下さい。

### ※注意※

ダイアグカプラ(黒色6極)は助手席グローブボックス奥(グローブボックスは取り外してください)になります。



〈図:ダイアグカプラ〉

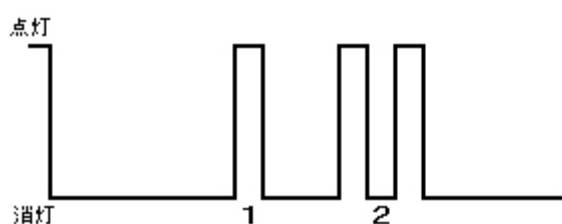
3. 2番端子、4番端子接続後 10 秒以内に『2レンジ』→『Dレンジ』の操作を3回以上行なって下さい。

4. コンビネーションメータ内の O/D OFF ランプが点灯します。

5. 以上で作業は完了になります。

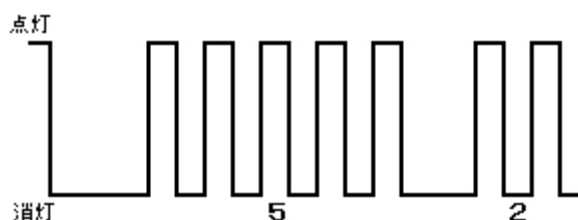
尚、作業完了後、クリア成功ならば O/D OFF ランプの点滅が『12』を表示し、クリア失敗ならば O/D OFF ランプの点滅は『52』を表示します。

クリア成功: 12



〈図:クリア成功〉

クリア失敗: 52



〈図:クリア失敗〉